



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

計画期間
2021—2023



長野市連携中枢都市圏ビジョン懇談会
令和3年11月22日 資料4

1

長野市SDGs未来都市計画

～環境共生都市「ながの」の実現～



概要版



2021年7月
長野市



● 森林と防災

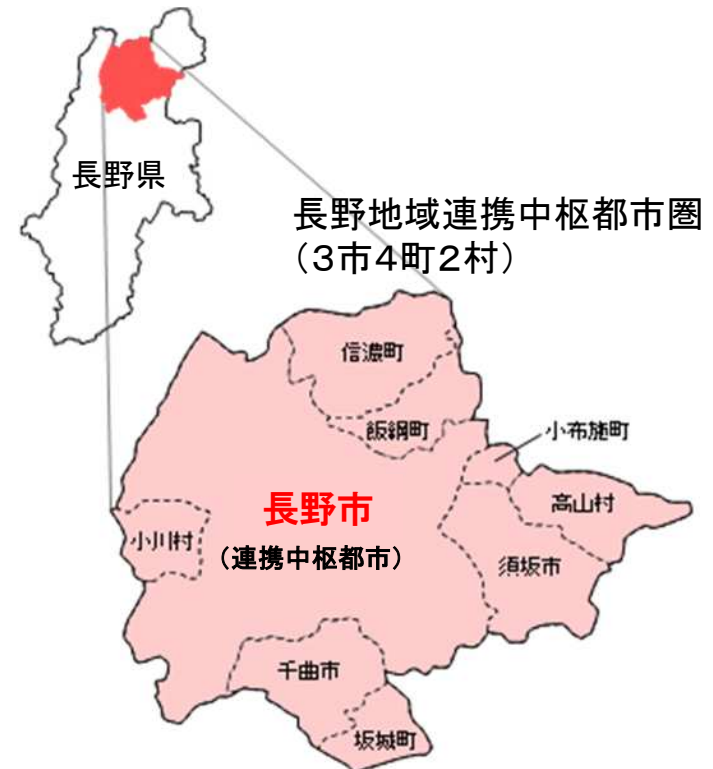
- ・平成の市町村合併による市域拡大(中山間地域)
- ・長野地域連携中枢都市圏の豊富な森林資源
- ・適切な森林マネジメントによる保全と活用
- ・「令和元年東日本台風」被災の教訓とゼロカーボンへの決意

● 市民特性

- ・家庭ごみの8分別収集、生ごみ堆肥化
- ・家庭ごみ総量と市民一人当たり排出量はH15年をピークに減少傾向
- ・善光寺門前リノベーション(古民家活用と若者)
- ・環境を理念とした1998年長野冬季オリンピック・パラリンピック等の遺産

● 産業特性／バイオマス産業都市構想

- ・食料品製造業が盛ん
- ・バイオマス資源(間伐材、おが粉、食品加工残さ、きのこ廃培地など)の有効活用策
- ・民間事業者のバイオマス関連の設備投資(木質バイオマス発電所、バイオブリケット(固形燃料)化設備、バイオガス化発電施設など)の動き
- ・バイオマス産業都市構想(R3年6月策定)



【計画全体のタイトル】

誰もが自分らしく活躍できる活気に満ちた長野圏域の創造
～環境共生都市「ながの」の実現～

【2030年のあるべき姿（目指す将来像）】

環境共生都市「ながの」の実現

自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る「産業」を、持続可能な形で、創造又は再構築する。

【目標】 ※バイオマス資源の活用を軸とした取組を先導に、SDGs17ゴールの達成に向け展開していく。

(1) 循環型社会の実現

- ・「端材」、「おが粉」、「間伐材」、「バーク(樹皮)」、「果樹剪定枝」など木質バイオマス資源を、再生可能エネルギーとして活用する。
- ・食料品製造業などから発生する「食品廃棄物」を廃棄物系バイオマス資源として、電力や飼料などで有効活用する。
- ・きのこ収穫後の「廃培地」を、肥料化、燃料化、飼料などで有効活用する。
- ・以上の取組みにより、**廃棄物の発生を抑制し、環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会の形成**を目指す。

(2) 豊かな自然環境の保全と持続可能な活用

- ・市域の約63%を占める**森林の公益的機能**(雨水を蓄え良質な水を生み出す、土砂の流出を抑える、二酸化炭素を固定する、安らぎの場など)を維持し、**質の高い森林環境を健全な形で保全**していく。
- ・木材利用を目的とする森林(**人工林**)については、所有者や境界、樹種などの**基礎データを把握**し、生産から最終消費者に渡るまでの価値連鎖(バリューチェーン)を踏まえて、**情報やデータを統合・運用**するなど、**官民一体の適切な森林管理体制の構築**を目指す。

(3) 脱炭素社会の構築と地域経済への波及

- ・バイオマス発電、太陽光発電、小水力発電など地域の特性に合った**再生可能エネルギー**を積極的に導入し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする**「脱炭素社会の実現」**に貢献する。
- ・木質バイオマスについては、**「木質バイオマス利用地域モデル事業」**など市内で先進的に取組む地区の仕組みを検証、発展させ、他地域にも展開する。
- ・**デジタル化**など新たな視点からの取組みを進め、**地域の林業や周辺産業への好循環**を目指す。

(4) 連携強化と人づくりの推進

- ・**令和元年東日本台風の被災**から学んだ**教訓**、**「環境共生都市」**のビジョンを市民や関係者と共有し、連携を強化していく。
- ・**森林オーナー**の森林への理解と関心を高める。
- ・林業事業者の従事者など**林業の担い手**を、**長期的な視点**で育成する。
- ・未来を担う**若者や子どもたち**に向けて、SDGs視点での**森林教育**や**森林作業体験**、**観光とのコラボ**などの機会をつくり、森林への関心・理解の向上を図る。
- ・**連携中枢都市圏を構成する市町村との連携・協働**により、目標を達成していく。

(5) SDGs理解の促進と情報発信

- ・関係者間で、全体ビジョンや各取組みの**意義を理解**し、**情報共有**など連携を強化し、具体的な行動につなげる。
- ・基本理念の一つに環境保全を掲げた1998年の**長野冬季オリンピック・パラリンピック**、及び2005年の**スペシャルオリンピックス冬季世界大会**などの開催地としての**財産**を次世代につなぐ視点をもつ。
- ・**都市ブランディングの一環**で、戦略的に国内外に向けて情報発信し、理解者、協力者を増やしていく。

全体タイトル	誰もが自分らしく活躍できる活気に満ちた長野圏域の創造～環境共生都市「ながの」の実現～				
2030年のあるべき姿	環境共生都市「ながの」の実現 ～自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る「産業」を、持続可能な形で、創造又は再構築する～				
目標	① 循環型社会の実現	② 豊かな自然環境の保全と持続可能な活用	③ 脱炭素社会の構築と地域経済の波及	④ 連携強化と人づくりの推進	⑤ SDGs理解の促進と情報発信
自治体SDGsに資する取組	① バイオマス産業の振興	② 森林マネジメント体制の確立	③ 再生可能エネルギー利活用の推進	④ 未来を担う人材育成	⑤ SDGs理解の促進
<p>特に注力する先導的取組</p> <p>長野地域バイオマス共生圏の構築</p> <p>三側面をつなぐ統合的取組</p> <p>森と樹と暮らしのエコシステム ～エコロジーとエコノミーの好循環～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製材おが粉を利用した木質ペレットの製造プロジェクト ・複数バイオマス資源のバイオブリケット化プロジェクト ・木質バイオマス資源の収集システム ・バイオマス利活用促進事業 ・きのこ廃培地の堆肥化による循環型農業の推進 ・バイオマス・脱炭素関連分野の調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業DX推進(森林管理システム) ・林業DX推進(森林作業・森林状態の見える化) ・地域産木材の需給管理の推進 ・木材の需要創出・利用拡大の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元NPOによる薪活プロジェクト ・持続可能な「奥裾花自然園」活用(森林資源×再エネ×観光) ・私有林の間伐促進 ・林福連携による里山整備 ・スマートハウス化応援隊事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林オーナー学習会 ・フォレストワーカーフォローアップ ・SDGs環境・森林教育プログラム ・サステナブルツーリズム(SDGsに貢献する観光) ・起業家創出プログラムin東京 ・企業とのコラボレーションによる森林整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス利活用キャンペーン ・林業イメージアップ ・SDGs推進のための調査・研究事業
<p><関連計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二期長野地域連携中枢都市圏ビジョン(R3.4) ・長期戦略2040(R2.5) ・スマートシティNAGANO基本計画(R3.10) ・第五次長野市総合計画後期基本計画(R4.4) ・長野市森林整備計画(R2.2) ・第三次長野市環境基本計画(R4.4) ・長野市バイオマス産業都市構想(R3.6) ・長野市災害復興計画(R2.4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・薪・ペレットストーブと木質ペレット・ブリケット利用促進プロジェクト ・剪定枝を利用した発電事業プロジェクト ・きのこ廃培地の利活用拡大(メタン発酵事業、家畜飼料化、バイオブリケット化、再生培地化) ・食品廃棄物によるメタン発酵事業 ・食品廃棄物の回収、リサイクルシステム ・下水汚泥等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利者への意向アンケート調査 ・長野市森林経営管理計画の策定 ・森林管理適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルガム活用の発展・展開 ・脱炭素化推進連携創出事業 ・ゼロカーボンマスタープラン策定 ・市有施設での再生可能エネルギー設備導入 ・再生可能エネルギーグループ購入促進事業 ・中心市街地遊休不動産活用事業 ・電気自動車(EV)活用PR・普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎から学ぶ趣味の林業講座 ・フォレストワーカー育成事業 ・森林の総合利用の推進 ・スタートアップ企業成長支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市ブランディング ・フィンランドトゥルク市との交流事業 ・SDGs動画コンテンツ ・SDGs講演会 ・ながのSDGsだより ・長野地域SDGs推進コンソーシアムの設置

事業名：長野地域バイオマス共生圏の構築



概要

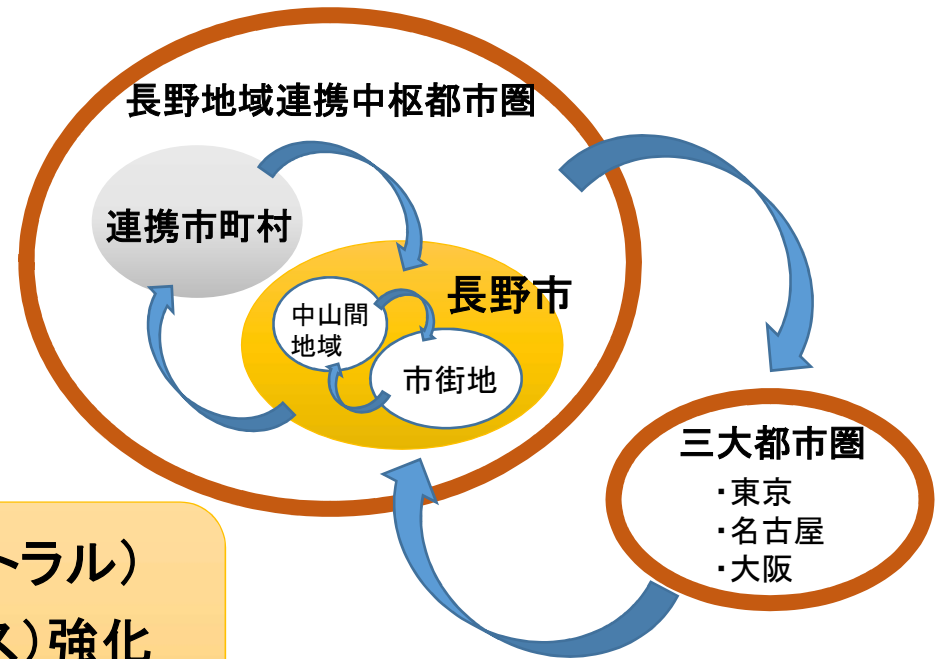
- 圏域の森林資源、きのこや果樹の栽培、食品製造業の多さなどの特性を活かし、木質及び廃棄物系バイオマス資源の活用により、廃棄物を抑えた環境負荷の少ない持続可能な循環型社会を目指す。
- 森林の持続的な保全と活用マネジメントを行い、ゼロカーボンへの貢献と地域内経済循環による長野圏域の活性化を実現する。

課題

- 人材・担い手育成
- 都市部と農村部間の良好なつながり
- バイオマス資源の有効活用の仕組み構築



- ✓ 脱炭素社会への貢献(カーボンニュートラル)
- ✓ 自然災害に対する強靱性(レジリエンス)強化
- ✓ 地域内経済循環による圏域の活性化



① 経済面	
＜バイオマス利用促進＞	
①-1	製材おが粉を利用した木質ペレットの製造PJ
-2	複数バイオマス資源のバイオブリケット化PJ
-3	木質バイオマス資源の収集システム
-4	バイオマス利活用推進事業【連携中枢事業】
-5	きのこ廃培地の堆肥化による循環型農業の推進
＜森林マネジメント＞	
-6	林業DX 推進(森林管理システム)
-7	林業DX 推進(森林作業・森林状態の見える化)
-8	地域産木材の需給管理の推進
-9	木材の需要創出・利用拡大の検討
＜SDGsが生み出すビジネス＞	
-10	サステナブルツーリズム(SDGs に貢献する観光)
-11	起業家創出プログラムin 東京
-12	バイオマス・脱炭素関連分野の調査・研究

■ 循環型社会の実現

- ・木質系、廃棄物系バイオマス資源の有効活用
- ・薪ストーブの利便性向上
- ・安定的に材を集める仕組み
- ・林業～食品製造業～農業での循環利用

■ 持続可能な森林の保全と活用

- ・先端技術を活用した林業の省力化、効率化による生産性向上
- ・林業及び関連産業の振興
- ・中山間地域の活性化
- ・森林のCO2吸収、化石燃料の使用削減

■ 地域産業への好循環

- ・観光とのコラボレーション
- ・首都圏からの起業家の呼び込み
- ・地元大学、企業等との連携による事業化研究

② 社会面	
＜森林所有者＞	
②-1	森林オーナー学習会
＜林業従事者＞	
-2	フォレストワーカーフォローアップ
＜子ども・若者＞	
-3	SDGs 環境・森林教育プログラム
＜市民・事業者＞	
-4	バイオマス利活用キャンペーン
＜福祉・雇用・検討＞	
-5	林福連携による里山整備
-6	林業イメージアップ
＜広域連携＞	
-7	SDGs 推進のための調査・研究事業【連携中枢事業】

■ 担い手・人材育成

- ・森林所有者の理解・関心の向上
- ・所有者不明・境界不明土地の解消
- ・自伐型林業など担い手の裾野拡大
- ・林業従事者の育成
- ・成長・発達段階に応じたSDGs教育

■ SDGs理解の促進

- ・全体計画、取組みの意義など根本理解の促進
- ・分野連携による多様な主体の参画
- ・若者を惹きつける林業の打ち出し

■ 広域連携・協働の推進

- ・各市町村取組の情報共有、意見交換
- ・広域メリットを活かした事業化検討
- ・具体的な行動促進



③ 環境面	
＜市民・NPO 等の活動＞	
③-1	私有林の間伐促進
-2	地元NPO による薪活プロジェクト
-3	企業とのコラボレーションによる森林整備促進
＜分野横断の取組み＞	
-4	持続可能な「奥裾花自然園」活用（森林資源×再生可能エネルギー×観光）
＜暮らし方の転換＞	
-5	スマートハウス化応援隊事業

■ 様々な協働による森林整備

- ・地域住民、NPOなどの自主的な活動の促進、横展開
- ・販路の確保、ユーザーのニーズなど情報共有による取組みの持続性強化
- ・SDGsに関心ある企業との連携促進

■ 分野横断による価値創出

- ・天然林、再エネ電力供給システム、観光を結び付け、新たなサービス、コンテンツなど価値創出
- ・地域資源の有効活用と再構築

■ 脱炭素社会に向けた暮らし転換

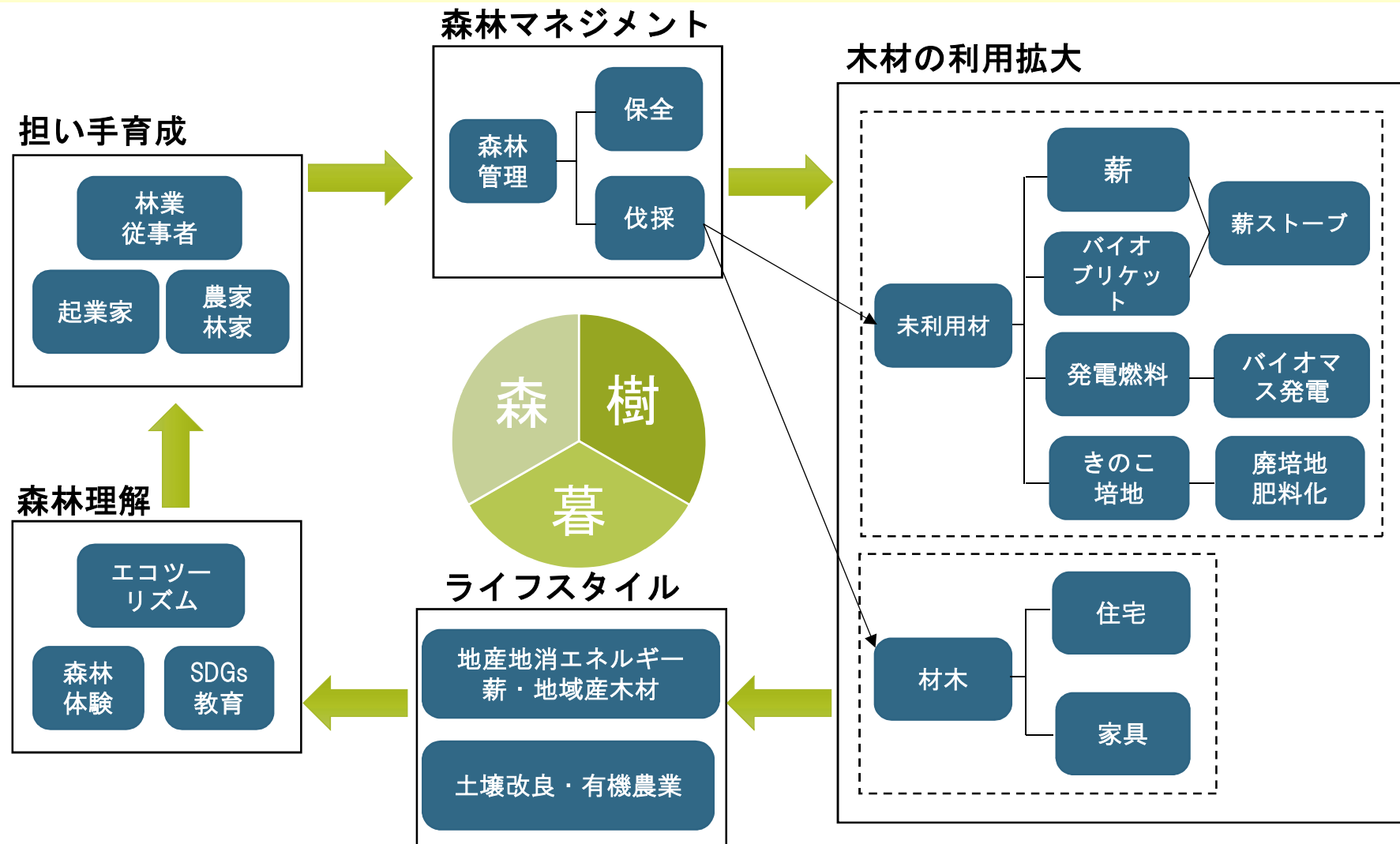
- ・太陽光発電、断熱、蓄電池、薪ストーブなど住宅のスマート化促進
- ・機器等メーカー、工務店など地元事業者の協力体制による普及促進
- ・地域内経済循環の促進



他に、蓄電池やV2H(Vehicle to Home)*によりエネルギーを貯めて効率よく利用することも考えられます。

事業名： 森と樹と暮らしのエコシステム ～エコロジーとエコノミーの好循環～

- 森林マネジメントを構築し、未利用材をバイオマス資源として電力・熱や固形燃料で再利用する。
- 再エネ活用や地域産木材による住宅を促進し、地産地消エネルギー、薪のある暮らしなど暮らし方の転換を図る。
- エコツアーリズムや森林教育で関係者の理解を深め、担い手を育成し、環境と経済が好循環するエコシステムをつくる。



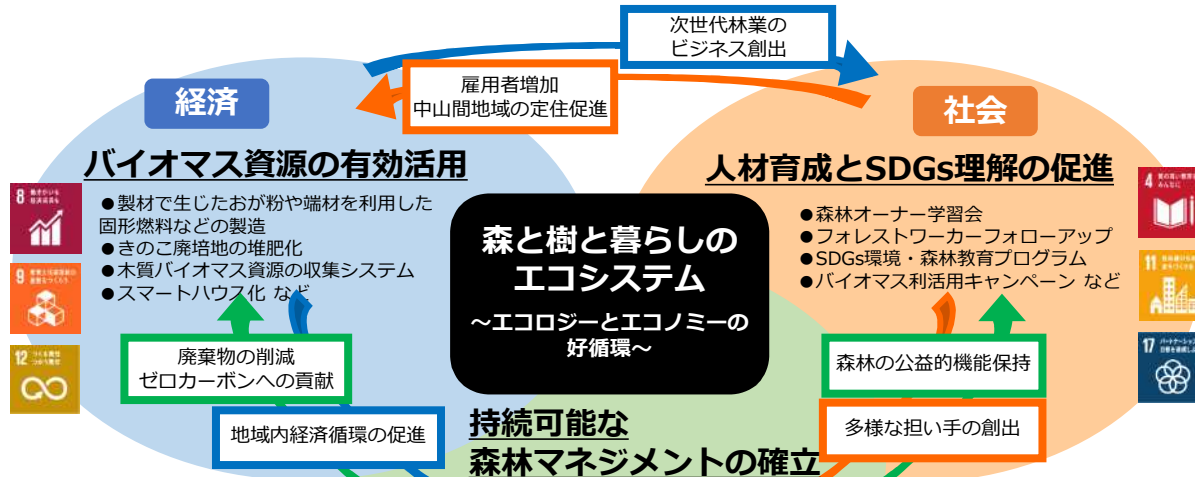
経済・社会・環境の各側面の相乗効果（統合的取組によって生じる相乗効果） 11

経済

- ・エコツーリズムや作業体験などSDGs観光コンテントの成立
- ・起業家や企業による次世代林業のビジネス創出

社会

- ・里山の景観、防災など国土保全
- ・中山間地域の過疎化の歯止め
- ・持続可能なライフスタイル関心層などの移住促進



経済

- ・おが粉や端材、きのご廃培地など未利用資源を活用した付加価値創出、生産の拡大
- ・林業DX推進による林業の再興、関連産業を含めた雇用の拡大
- ・スマートハウス施工による地元事業者の業務増、地域内経済循環の促進

環境

- ・バイオマス燃料利用による域外からの化石燃料購入費削減、地域循環資金へ
- ・バイオマス燃料利用、スマートハウス化による二酸化炭素排出量の削減
- ・バイオマス利活用による産業廃棄物の削減

環境

- 林業DX（森林管理システム）
- 林業DX（森林作業・森林状態の見える化）
- 木材の需要創出・利用拡大の検討
- 地域住民・NPO・企業との協働による森林整備・薪づくり など

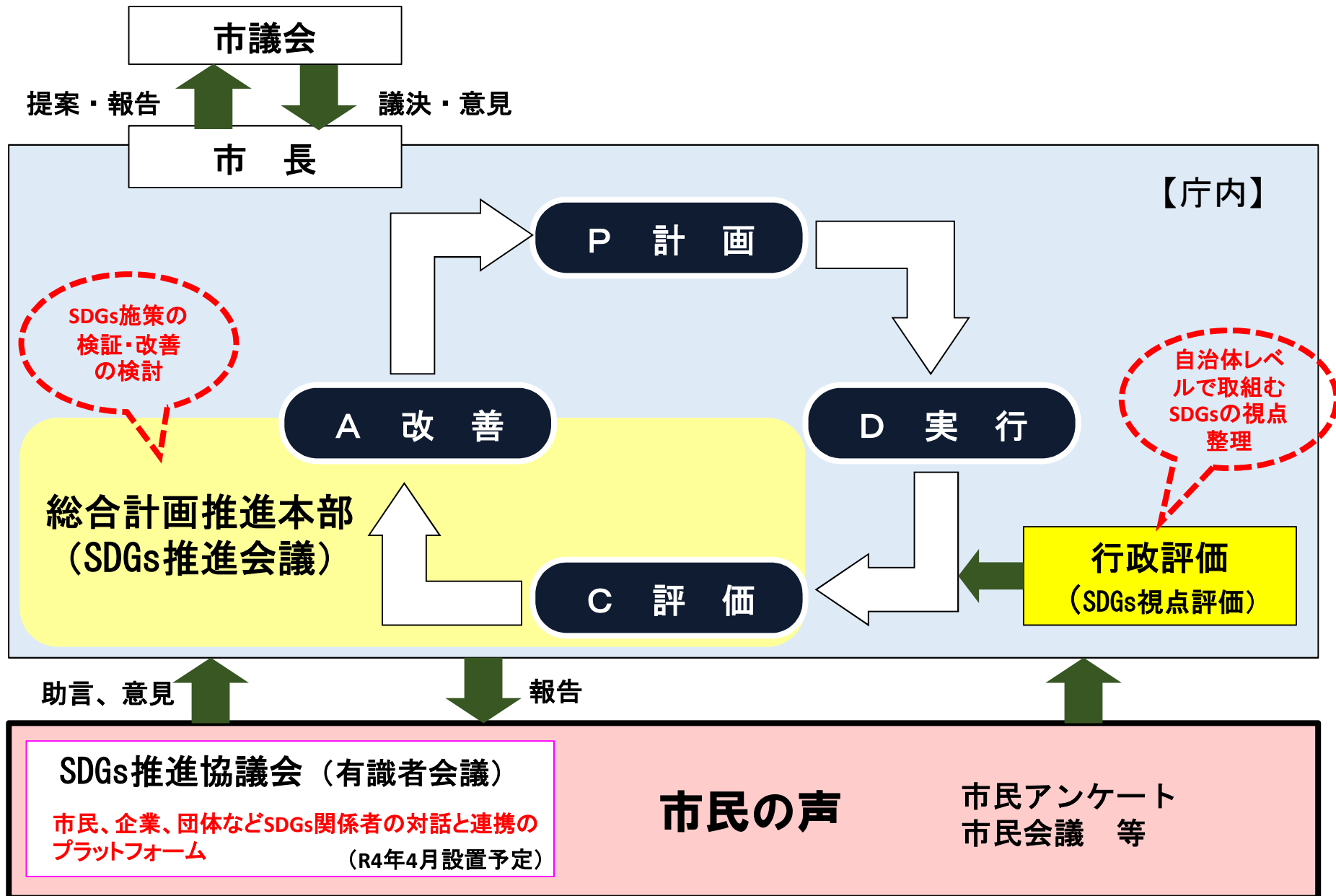


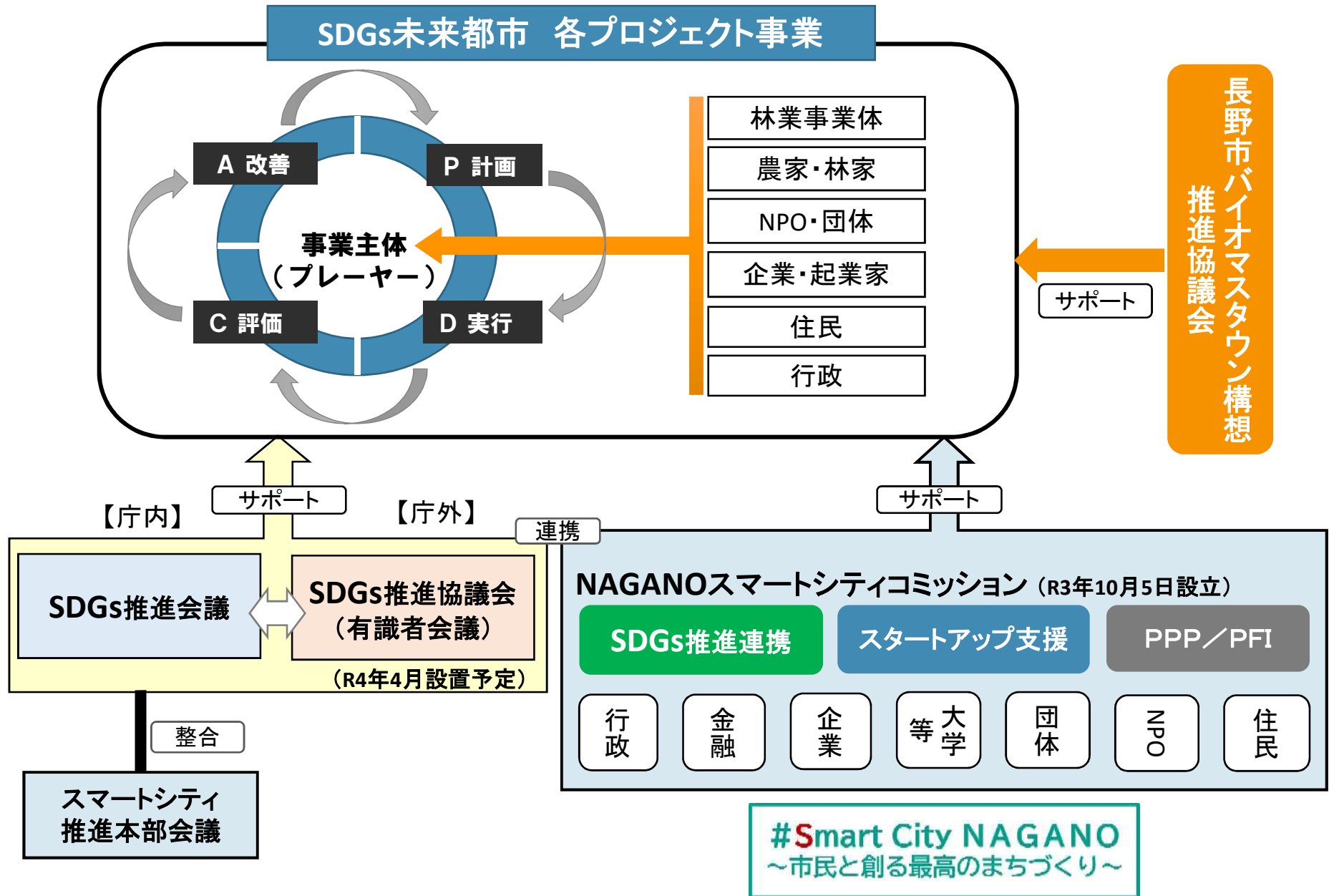
社会

- ・子どもや若者に向けたSDGs教育の取組みにより、未来の人材を育成
- ・森林所有者の森林への関心を高め相続登記の放置、所有者不明土地の増加を防ぐ。
- ・林業事業体、自伐型林家など多様な担い手の創出

環境

- ・持続可能な森林管理体制を構築し、脱炭素社会の実現に向け貢献
- ・森林の公益的機能が保持され、自然災害の被害軽減







SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGsの旗を立て
地域の資産を結集し
それぞれの取組みや事業をつなぎ
多様な主体との連携で新たな価値を生み出し
環境共生都市「ながの」の実現を目指します。

戸隠神社奥社



長野市